

社会 ダイバーシティ

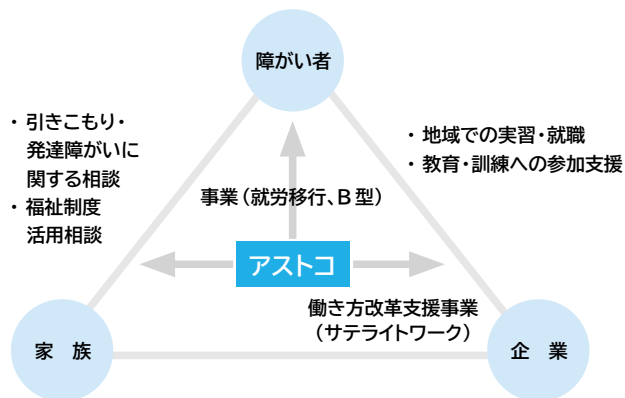
障がい福祉サービス事業

エンビプロ グループでは、障がい者が社会の中で自立し、自分の能力や知識を活かせる職に就けるよう、障がいのある方々の能力・知識・技能を伸ばすサポートを行っています。

(株)アストコの松本市と安曇野市の事業所では、同一敷地内にあるグループ会社のリサイクル工場で研修を実施。実務に近い研修を実現することで、障がい者の方が就職後のイメージを掴みやすく、安心して研修や業務を行える環境を創出しています。

また同社では、障がい者が就労を継続していけるよう就職先に対する支援を実施しているほか、就労できる知識や技能があるにもかかわらず職に就く意欲を失っている方や引きこもりになっている方が、社会との関わりを持ち、働く意欲を持てるようになるための支援を、各分野の専門家のもとで行っています。

地域社会での障がい者自立支援活動



●就労移行支援事業 [ブライト] Bright

就労を目指す障がい者ご本人に、就職するための訓練・就職活動支援を行う、通所型福祉サービスです。

18歳以上65歳未満の就労意欲をお持ちの方が利用しています。



講義風景

登録者数 (2019年6月末時点)



●就労継続支援B型事業 [エコミット] ecommit

障がいや難病などがあり通常の雇用契約を結んで働くことが難しい方に、知識・技能習得のサポートや軽作業などの就労訓練を行う福祉サービスです。

工賃の支給があり、年齢制限はなく障がいや体調に合わせて働くことができることが特徴です。

●サテライトワーク

障がい特性に応じた適切な対応が難しいなど、企業側が抱える問題を解決するため、障がい者にとって働きやすい職場環境づくりや仕事の創出を支援する事業です。

(株)アストコ事業所 ■ブライト ■エコミット



働き続けられる職場づくり

日本は少子高齢化に伴い、労働力人口が減少するという問題に直面しています。当グループが事業を継続していくには、社員一人ひとりが能力を最大限に発揮するとともに、様々な立場の人が働き続けられる職場づくりが必要です。このような考えのもと、当グループでは社員が働きやすい仕組みや制度の導入を推進しています。



育休からの復帰率
100%
(2018年度)

Interview (株)ブライティノベーション 管理担当 館野 紘子



Q1. 入社前は何をしていましたか？

子育てやボランティア活動をしていました。同時に求職活動もしていて「社会課題の解決」と「働きやすさ」のキーワードで出会ったのがブライティノベーションです。

Q2. 今はどんな仕事をしていますか？

管理業務全般を行っています。経理や労務はエンビプロへ委託していますが、それ以外の日々の業務は私の担当です。管理部門だけではなく、業務委託のお仕事にも関わらせていただくこともあります。

Q3. どんな場面で働きやすさを感じるでしょうか。

子供が10日ほど入院をしたことがあり、その間は面会時間に間に合うように毎日早退させていただきました。完治する病気ではないため「退職したほうが良いのでは」と悩みましたが、必要に応じて勤務時間をスライドしたり在宅勤務に切り替えたりさせていただいています。

また、同じ事業所内にはお子さんが病気で登園・登校できないときに在宅勤務をする方もいますし、採用時から時短正社員で働く方もいます。制度があるのはもちろんのこと、その制度を利用しやすい職場の雰囲気にも働きやすさを感じます。

障がい者の就職と就労継続のサポート

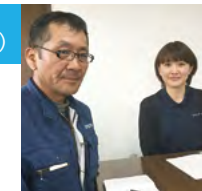
障がい者雇用では、ご本人と雇用企業の間でミスマッチ（労働環境、仕事内容など）が起きやすく、就職しても長く働き続けることが難しいこともあります。雇用した障がい者が退職してしまうことは企業にとっても損失となり、双方にとっての課題となっています。

当グループではグループ会社で連携し、障がいがある方が長く働ける仕組みや環境を整えています。



グループ全体の
障がい者の勤務者数
18人
(2019年6月1日時点)

Interview (株)しんえこ 太田 隆志(左) (株)アストコ 良波 美穂(右)



Q1. 日々、どのようなサポートを行っていますか？

(しんえこ) 障がい者雇用担当者が毎日の作業現場の巡回と、定期での面談を実施しています。毎日顔を合わせてコミュニケーションをとることで、本人の体調や心の変化をいち早く知ることができます。勤務時間や勤務日も、本人の体調や通院などの事情を考慮して決めています。

(アストコ) ご本人や所属部門と定期的に面談しているほか、出勤・退勤時など日常的な挨拶の際にいつもと違う様子であれば、ご本人に確認したり、しんえこの担当者に相談したりすることもあります。

Q2. 会社間の連携について教えてください。

(アストコ) 就職時の面接や実習時にご本人の得意なこと、苦手なこと、配慮が必要な点を共有しています。特にご本人がなかなか言葉に出せない部分に関しては、しぐさや特徴を含め伝えています。

(しんえこ) いただいた情報をもとに日々接しています。働いてから出てくる困りごとについてもアストコと共有し解決に取り組んでいます。企業側と支援側の視点をすり合わせることで、良い環境づくりができていると感じます。

社会 社員エンゲージメント

安心・安全な職場環境への取り組み

生産現場での重大事故は命に関わる場合があり、絶対に発生させてはいけないことです。

当グループには複数の生産現場があり、各子会社および拠点ごとに安全に対する啓発とそれぞれの状況・環境に応じた労働安全活動を行っています。

Interview (株)エコネコル 生産部 非鉄課長 小林 進也



Q1. 非鉄課で行っているKYT※1はどのようなものでしょうか？

毎朝朝礼前、社員によっては前日の帰宅前に、KY※2シートに実施予定の作業にはどのような危険があるか、対策は何か、といった内容を5項目書き出します。

朝のミーティングで1チームにつき1名が日替わりで発表し、チーム内で共有します。

全員分のシートを回収してチームリーダーや課長が確認し、フィードバックや必要に応じてディスカッションを行います。

全社に知っておいてもらいたい事象があれば、毎月の安全委員会で発表します。

※1 KYT：危険予知トレーニング ※2 KY：危険予知

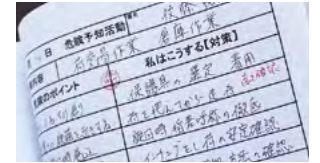
Q2. KYTを毎日行うようになったことで、それまでと何か違いがありますか？

以前から安全に配慮した作業や指導はしていましたが、その状況でも事故の発生がありました。改めてKYTを毎日行うことで、より一層「まずは安全」という意識になっています。

また、これまでも事故が発生したときには「なぜなぜ分析」をしていましたが、その分析の中で人によって危険への感度や考え方に差があり、危険のポイントや対策に違いがあることが分かりました。まずは個人で危険予知をし、その後チーム内や課内で共有することで一人では意識していなかった危険にも気付くことができるようになりました。

Q3. これから取り組みを続ける中で、どのような状態を目指していますか？

現在行っているKYTは、一連の業務の中でも主となる作業に対するKYがメインとなります。日々のKYにおいてリスクの度合いや重大性も変わってくる中で、より危険への感度を高め自然にKYができるような取り組みをしていきたいと思っています。



社員意識調査の実施

当グループでは、「利益や喜びを共に生きる人たちと分かち合う」という企業理念のもと、社員がやり甲斐を持って活躍でき、安全で快適な職場をつくることを目的に、毎年グループ全体で同時期に社員意識調査アンケートを実施しています。

アンケートは生産、営業、事務の3部門に分けて集計を行い、各社社長をはじめとする経営者層でその結果を共有。改善案の策定および実行を進め、課題の確認と改善を繰り返すことによって、社員エンゲージメントの向上に努めています。



社会 再生可能エネルギーとCO₂削減

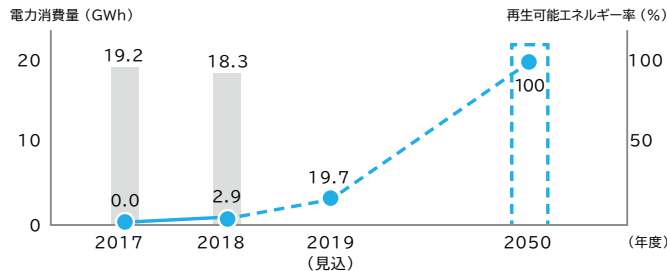
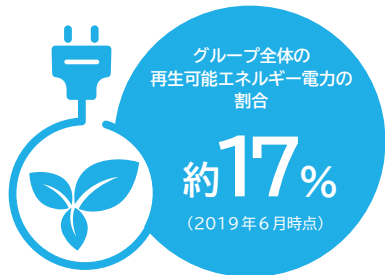
「RE100」に基づく再生可能エネルギーの推進

2050年までに事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーにすることを目標に掲げるエンビプログループは、2018年7月、「RE100[※]」に加盟しました。リサイクル業界からの加盟は世界初となります。



当グループ施設・工場の「しんえこプラザあづみ野」「東洋ゴムチップ工場」は、同施設・工場で使用する電力の100%を再生可能エネルギー由来電力とする「RE100工場」を実現しています。また、グループ全体で使用する再生可能エネルギー電力の割合は約17%（2019年6月時点）と、2050年までの目標に向けて着実に再生可能エネルギーの取り組みを進めています。

※RE100：100% Renewable Electricityの通称。事業運営に要する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟する国際イニシアチブ。



コンサルティングを通じた脱炭素化の促進

当グループの(株)ブライティノベーションは、企業の環境経営・脱炭素戦略に関するコンサルティングサービスを行っています。環境経営の立案・見直しなどの上流工程から環境マネジメント体制構築、温室効果ガスの排出削減プランニング、ソリューションとしての再生可能エネルギーの導入などの下流工程まで、お客様のニーズに合わせたサービスを提供しています。

Topics

地域循環共生型リサイクル施設「しんえこプラザあづみ野」



当グループの(株)しんえこが運営する地域循環共生型リサイクル施設「しんえこプラザあづみ野」(長野県安曇野市)が、屋上にリユース太陽光パネルを用いた発電設備を設置しました。

同施設は、小売電気事業者のRE100メニューの供給を受けており、「RE100工場」を達成しています。今後は、購入する電力に加え、自社の太陽光発電(PV)設備で発電した電力も事業に活用することができます。

(株)ブライティノベーションは当グループのRE100推進の事務局として、本取り組みの計画から導入までをワンストップで行いました。この取り組みで得たノウハウを活用し、

また、CDPの気候変動の質問書では、気候変動関連リスク・機会の特定・評価、マネジメント体制、排出削減の中長期目標など、気候変動に関する情報開示が求められます。(株)ブライティノベーションは、CDPのスコアリングパートナーとして企業評価を行うほか、評価向上に向けた回答支援を行うなど、豊富なコンサルティング実績をもとに、情報開示と脱炭素化に向けた取り組みを支援しています。



CO₂削減や再生可能エネルギー導入に取り組もうとする企業に対し、同様のサービスを提供していきます。

